

宮崎市郡医師会病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。いつでも本研究への参加を拒否することが可能です。

研究課題名 (研究番号)	心房のアミロイド沈着が左心耳内血栓形成、心房機能および心房細動治療後再発に及ぼす影響の評価
当院の研究責任者 (所属)	西村 征憲 (心臓血管外科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	当院のみで施行 (該当なし)
本研究の目的	<p>心房細動は我が国で最も多い不整脈で、高齢化に伴ってその頻度は増多の一途を示しています。心房細動は動悸や息切れなどの症状に加えて、心房・心耳に血栓を誘発し、脳梗塞(心原性脳塞栓症)の主原因となっています。根本的治療として、内科的にはカテーテルで心房内部を焼却・冷凍するカテーテルアブレーションが行われていますが、術前に心房内血栓を認めるとカテーテルアブレーション治療は禁忌となり、外科的切除の対象となる場合もあります。外科的には心房心筋を切開縫合や焼灼・冷凍する手術(メイズ手術)に併せて左心耳切除術が広く行われていますが、術前評価で左心耳血栓ありと診断された症例の中には、切除した左心耳内に血栓を認めない症例がある一方、術前左心耳内血栓を指摘されていない症例で、切除標本内に血栓を認めることもあり、術前に左心耳内血栓を正しく評価する検査法については議論の余地があります。また、心房細動に対する内科、外科いずれの治療後においても術後の再発が課題となっています。</p> <p>心房細動の再発には多くの要因がありますが、近年、心房・心耳にアミロイドというタンパク質が沈着することが一因と推察されていますが、明らかにはされていません。</p> <p>本研究では、当院で施行された開心術で心耳を切除された患者様において、臨床所見、CT・MRI・心エコー図などの画像と心耳のアミロイド沈着の程度・分布を評価し、左心耳内血栓の有無や心房機能および術後の心房細動再発との関連性を明らかにすることを目的とします。</p>
調査データ 該当期間	2015年1月から2022年12月までの期間に当院で開心術を受けられた方
研究の方法 (使用する試料等)	診療情報に関するデータ:年齢、性別、身長、体重、NYHA心不全クラス、合併疾患名、心エコー図所見、手術データ:術式、手術時間、人工心肺時間、心停止時間、術前に撮影されていたCT・MRI画像、心耳の病理組織所見、アミロイド沈着の程度、心耳内血栓の有無
試料情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	当院のみで施行(他の研究機関への提供はありません)
個人情報の取り扱い	お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌などで公表する際には、個人が特定できないような形で使用させていただきます。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究を行うにあたり、企業や団体からの資金提供はありません。
お問い合わせ先	宮崎市郡医師会病院 心臓病センター 心臓血管外科 TEL:0985-77-9101 研究責任者:西村 征憲
備考	